

## 令和5年度 榴岡図書館利用者懇談会 実施報告

- 1 日時 令和6年2月8日(木) 13時30分～15時
- 2 会場 仙台市生涯学習支援センター 5階 第2セミナー室
- 3 出席者 一般利用者 : 3名  
仙台市生涯学習支援センター : 1名  
仙台市歴史民俗資料館 : 1名  
仙台市榴ヶ岡市民センター : 1名  
東口ガイドボランティア 宮城野さんぽみち : 1名  
パルシティ管理事務所(日本ハウズイング株) : 1名  
パルシティ仙台運営協議会 : 1名  
榴岡図書館 : 榴岡図書館長  
スタッフ1名  
丸善雄松堂仙台センター2名

- 4 内容
1. 開会
  2. 挨拶 榴岡図書館長
  3. 自己紹介
  4. 令和5年度 自主事業の報告
  5. 令和5年度利用者アンケートから
  6. 榴岡図書館へのご意見・要望・意見交換
  7. 閉会

### 5 榴岡図書館へのご意見・ご要望等

ご出席者の運営評価、皆様から頂戴しましたご意見・ご要望は以下の通りです。

#### (1) 榴岡図書館の事業へのご意見・ご要望

##### ○支援センター

- ・図書館の事業時、部屋を貸している。近々ブックトレードも1階のスペースを使って行うようなので今後も活用していただきたい。
- ・支援センター主催、教育局主催の講座でも時々関連本を借りている。これからもいろいろな形で連携していければと思う。
- ・パルシティの建物の間口が外からは見づらく、人からの見つけにくさは感じている。集客に苦慮されていることは知っているが、どうにか参加してもらえるよう相談しながら連携していきたい。
- ・世間では「読書離れ」や「書店の減少」「出版部数の減少」などが懸念されているが、全国の図書館数は増加傾向である。図書館は地域の交流も深まる場所だと思っている。ぜ

ひ市民センターとも連携を続けてほしい。

#### ○榴ヶ岡市民センター

- ・図書館と小学校の図書室が連携するのも大事だと思うので、今後検討してもらいたい。
- ・榴岡周辺は文学にまつわる場所が多い（島崎藤村など）。まちあるきと重なってしまうかもしれないが、講座等で連携できればと思う。
- ・ブックトレードはとてもいい事業だと思う。チラシは榴岡小学校へも配布したのか。数枚程度だと中々児童一人一人まで情報が行きわたらない。ブックトレードは子どもたちがとても興味を持つと思う。せめてクラスに数枚ずつでもいいので部数を増やしたり、小学校の図書室と連携したりと、お知らせの方法を考えて良いと思う。

#### 【榴岡図書館からの回答】

チラシの配布は学校に対し数枚程度配布していたが、配布枚数を増やすかは今後の検討事項としたい。

#### ○仙台市歴史民俗資料館

- ・資料館の学芸員が伺い、年2回連携講座を実施している。
- ・榴岡公園でのブックトレードはよくやっていると思う。本に興味がある方にとってはとても良い取り組み。
- ・榴岡図書館のスタッフはいつも明るく笑顔で対応していただき、ありがたい。
- ・榴岡図書館は立地がとても良いので、今後周辺に勤務されている方、お住まいの方にもうまく周知して行ってほしい。

#### ○東口ガイドボランティア 宮城野さんぽみち

- ・宮城野区は文学者が立ち寄ったり、作品を書き上げたり、何かとゆかりのある土地。榴岡天満宮にも資料に載っていない碑があるなど、魅力が多い。今後もこういった内容の連携（まちあるき）ができればと思っている。

#### ○パルシティ管理事務所

- ・利用者アンケートで「男子トイレの手洗い場を早く直して欲しい」と意見があったようだが、業者へ依頼をしたはず。修理に来なかったか。

#### 【榴岡図書館からの回答】

見積のために一度来館したが、修理には至っていない。

#### ○パルシティ管理事務所

- ・再度連絡し、早急に直してもらおうようにする。
- ・設備等（電気、水道など）で不具合があればすぐに申し出てほしい。仙台市の予算等の兼ね合いもあるが、生涯学習支援センターと連携して修繕していきたい。

### ○パルシティ管理事務所

- ・ブックポストの場所をよく聞かれる。夜は電気が点くので目立つが、日中は分かりにくいようだ。表示の改善はできるのか。

### ○パルシティ仙台運営協議会

- ・図書館のブックポストは、開館後に増築、改造したもの。
- ・1階のピロティ（玄関）は業務棟との共有部分。柱部分は全体の共有部分。それぞれ利用規約があり、簡単に広告や表示を掲出できない。（※楽天が入っていた時は特別に許可を出して広告を掲示していた。）
- ・最近では「パルシティ」とビル名を言っても伝わらない。「図書館があるビル」と説明すると伝わるが多々ある。図書館のイメージが定着していると思う。
- ・建物としても「図書館」と「支援センター」の表示等を見直すべきだとは思っている。
- ・マンション等の管理であれば長期修繕計画を策定しているはずだが、パルシティは地権者（ほぼ素人の方たち）が管理していたので、今まで修繕計画を作っていなかった。現在、図書館専有部も含めた長期修繕計画を作成してもらっている。今後進捗を共有していく。
- ・マンションに住んでいる図書館利用者から「トイレを修繕して欲しい」と声が上がっているの、修繕していきたい。

### ○利用者

- ・ブックポストもだが、図書館の表示が目立たない。もっと目立たせても良いと思う。せめて「図書館」の文字を大きくしてほしい。

### ○利用者

- ・若林図書館も建物自体の表示は目立たないが、道路に立て看板式の表示を出している。あれはとても目立つので良いと思う。

#### 【回答 パルシティ仙台運営協議会】

- ・ガラス面に内側から表示を掲示することは可能。外側だと共有部分、専有部分にかかってくるので難しい。
- ・表示以外にも、入り口の自動ドアやシャッター一部分も40年を経過しているので、徐々に修繕を検討していきたい。

### ○利用者

- ・自分が買った本で、読み終えた本は図書館へ寄贈している。
- ・たくさん予約が入っている本はなかなか順番が回ってこない。予約多数の本の寄贈は受け付けないのか。せめて順番を回せるように、寄贈受付のPRをした方が良いのではないか。

#### 【榴岡図書館からの回答】

寄贈を受け付けてはいるが、大々的に告知等に行っていない。予約が多数入っているか、また本の状態等によるので、受け付けられるかどうか問い合わせがあった際に判断している。

## ○利用者

- ・ 榴岡天満宮で「鶯替えの神事」があるが、知らない人も多いと思うのでコラボしてはどうか。
- ・ ゆかりの文学者が多い青森では文学者が好きだったものなどを展示、解説するイベントも実施している。(太宰治は味の素が好きだった、寺山修司はカレーが大好きでお盆によそって食べていた、など。)
- ・ 除籍本を保育園等に（譲渡会で）下げ渡しているようだが、一般の利用者にも譲渡できるようなれば良いと思う。
- ・ 図書館は自分の本棚のつもりで利用している。購入を迷っている本などは借りてみて、どうしても欲しい本だったら購入している。
- ・ 図書館の入り口にある展示コーナーは毎回楽しみにしている。装丁が素敵だったり、絵が素敵な本があったら、作者を調べたりしている。
- ・ 若者を呼び込むイベントであれば、天文台や科学館と連携し、専門の人たちの話をきくのも良いと思う。
- ・ あしなが育英会が五橋の施設でビブリオセラピーをしている。コラボしてはどうか。
- ・ 生涯学習支援センターで募集していた「御朱印帳をつくろう」という講座に参加したことがあるが、作った後使わないままになってしまった。活用するために、まちあるきと連続して御朱印巡りをしてはどうか。まちあるきの前に勉強会を開いても良いと思う。

### 【榴岡図書館からの回答】

数年前に御朱印をいただけるコースでまちあるきを実施したが、連続講座としても検討していきたい。

## ○東口ガイドボランティア 宮城野さんぽみち

- ・ 榴岡周辺の方たちとの集会で、どういう御朱印がほしいのか話題になったことがある。三十三観音、七福神、十二支なのか。またお寺によっては御朱印をいただけない場合もある。

## ○利用者

- ・ カウンターや図書館の入り口にあるチラシを見てイベントに参加したことがある。図書館のイベント以外にも、地域包括支援センターのチラシを見て講座に参加したこともある。地域包括支援センターの講座は近隣の専門学校生が来て連携していた。図書館も色々なところと連携していると思う。
- ・ 子どもたちがたくさん来館し、にぎやかなのは悪いことだとは思わない。カウンターで「この図書館は本が少ない！」と意見をしている男性も見受けられるが、自分は気にしたことがない。本が少ないと感じるならリクエストすればいいと思っている。
- ・ 図書館の規模が小さいことをデメリットに捉える必要はないと思う。
- ・ まちあるきに参加したいが、あまり長い距離だと歩ききれるか不安で参加申し込みまで踏み切れない。一ヶ所を徹底的に学ぶまちあるきはあるのか。また、図書館とコラ

ボする可能性はあるのか。

【回答 東口ガイドボランティア 宮城野さんぽみち】

- ・宮城野さんぽみちのまちあるきではだいたい2時間程歩く。来年度の提案だが、「歩かないまちあるき」を考えている。例えば公園で座りながら、公園内にある石碑や像、植物をガイドすることを提案しようと考えている。図書館、榴ヶ岡市民センター、歴史民俗資料館ともコラボできれば嬉しい。

○パルシティ仙台運営協議会

- ・東口エキサイティング事業など多岐に携わっているが、各団体、各施設がリンクしていないところがあると感じる。コロナ前までは人が集まっていたが、今同じことをやっても人は集まらない。運営する人も高齢化して代が変わったり、何かイベントをしても施設の中に入って来ない人もたくさんいる。考え直さなければいけない時代になっている。各団体、各施設が繋がろうとはしているが、無理やり繋げようとしているようにも感じる。また、繋がりを広げることが目的になってしまっている節がある。自分たちの活動をまずこなすべき。
- ・ハード面である図書館の表示、トイレの改修は今後検討していく。
- ・ブックトレードは大々的でなくても、館内でコンパクトに実施でも良いと思う。

○利用者

- ・トイレは仙台市の予算で直せないのか。
- ・市民が自由に使えるトイレは限られてきている。地下鉄のトイレのように自由に使えるトイレをもっと整備すべきではないか。

○パルシティ仙台運営協議会

- ・仙台市にも予算の事情があることは承知している。市民の声があがれば仙台市も動きやすいと思う。

○仙台市歴史民俗資料館

- ・トイレ改修の問題は当館でも抱えている。年配の方が来館すると、とても使いづらいつとご意見をいただく。

○東口ガイドボランティア 宮城野さんぽみち

- ・改修の意見はどこに言えばいいのか。

【回答 仙台市歴史民俗資料館】

- ・市長への手紙、仙台市のお問い合わせメールでも受け付けている。必ず回答することになっているので、直接意見を言った方が届きやすい場合もある。

【榴岡図書館から】

先ほど除籍本の譲渡についてご意見をいただいたが、図書館所蔵の資料ではなく、自分の持っている本を交換するブックトレードを毎月実施していく。ぜひ活用していただきたい。

懇談会の様子

